

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和元年度 臨時常任理事会 議事録

日時：令和2年4月8日（水） 19：00～20：55

Web会議ツール「Zoom」を使用してオンラインミーティングにて開催予定。

出席：大場、小森、山倉、大内、笥、細田、荒井、宇都木、関、武士 計10名

欠席：寺門

書記：開江

令和2年4月8日19時00分、Web会議ツールZoomによるWeb会議において、理事10名出席の下、臨時の常任理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、20時55分散会した。

【I 審議事項】

1. 学術集会の開催方法の検討 →継続審議 (宇都木学会部長)

<審議概要>

- ・3士会役員会が開催され、その中で「リハケア学会」に係る担当団体について依頼があった。
- ・第13回茨城県作業療法学会＋第6回北関東甲信越ブロック学会＋第24回茨城県総合リハビリテーションケア学術集会の3組織による“合同学会”とすることで依頼を受託。学会開催までの流れの確認。実行委員、運営委員の組織編制、テーマ・内容、開催場所、開催時期、予算について審議がなされた。

<審議結果>

- ・学会の開催準備を進めていく事と並行して、大場会長よりリハケア学会事務局大曾根様と連絡を取っていただき、リハケア学会諸岡会長に開催について承諾を得ることとする。
- ・COVID-19感染予防の観点から対面での理事会開催が難しい。また、多職種間でのオンライン会議開催も困難なことが予測される為、諸岡会長の承諾を得た後は、持ち回り理事会での承認を得ていく方法も必要か？
- ・学会としては、学会開催の方向として動いていくが、国や県、協会より年度内中止の要請が出た場合などには中止とすることもあり得る。
- ・当学会開催に向けた予算立ても行っていくこととするが、国からCOVID-19関連での事業遂行困難時の収支相償についての連絡も来ており、中止となった場合には県と折衝し収支調整を行っていく。
- ・中止の際の返金については、学会機関紙の出来上がる前後で対応を考えていく。
- ・運営委員会の開催は、WEB会議にて開催の予定。当士会のzoom IDを使用し宇都木学会部長ホストで開催していく。
- ・学会開催案としては以下の通り。

テーマ：地域創生社会におけるリハビリテーションの可能性

日時：当初は11月28、29日を予定していたが、開催場所の変更、諸岡会長の日程について確認が取れていないため未定。例年11月下旬～12月上旬で開催しているため、例年の日程を考慮して検討していくこととする。

会場：未定。日時との兼ね合いで決定する。

主催／大会事務局：公益社団法人 茨城県作業療法士会／茨城県総合リハビリテーション学会

県学会大会参加費：茨城県士会員・北関東信越ブロックの県士会員3000円、非会員6000円、作業療法士以外の医療専門職3000円、学生・一般無料

リハケア参加費：個人会員2000円、団体会員3000円、非会員4000円

参加費については、双方の受付の混乱をさけるためにシンプルにしていく。

2日間開催で料金は両日ともに同額。

一般演題募集：7月1日（水）～7月31日（金）の7月一杯を予定。

共催：北関東信越ブロックの各県士会（新潟県、群馬県、栃木県、長野県）

後援：茨城県、一般社団法人茨城県医師会、公益社団法人茨城県歯科医師会 等

実行委員会組織：大会長 大場耕一（茨城県作業療法士会会長）、実行委員長 山倉敏之（茨城県作業療法士会副会長）、副実行委員長（茨城県作業療法士会 事務局長）

事務局：一般社団法人茨城県リハビリテーション専門職協会

運営委員会組織：運営委員長 関智之

プログラム：依頼する講師のお越しいただく地域によってタイムスケジュールを調整。

プログラムの内容として、運営委員からは、ボリュームが大きすぎるのではないかとの意見もあったが、合同学会のそれぞれの色をしっかりと出していくのであれば多少ボリュームが大きすぎるのはしょうがないか。

中堅者発表については、フリーで演題を募集後、選定して中堅者発表に入れ込んでいくか、中堅者の推薦で、指定演題としていくか。現行、会場の関係もあり、中堅者発表のスケジュールを組んでいるが、会場が可能であれば領域別に2ブロックに分けての開催も検討。

2. 総会の開催方法の調整・確認、今後の流れについて →承認 (荒井総務部長)

<審議概要>

- ・COVID-19の感染拡大を考慮して、総会開催方法、今後の流れについて審議がなされた。

<審議結果>

- ・OT協会の総会が省略となる可能性もあるが、当士会としては、代議員総会の導入についての決議もあり、総会をやらないというわけにはいかない。
 - ・県士会として、会員の安全を守りながら業務を執行する為に最善を尽くす方針であり、できる限りの意思表示をしていく。
 - ・今年度は、インターネット会議システム Zoom を利用してのWEB総会開催とする。システム上参加人数は100名程度が限度となるが例年の総会参加人数（70名程）を考慮しても問題ないと思われる。
 - ・総会参加方法は事前登録制とし、事前に総会案内とZoom設定・使用説明・参加フォームを会員へ送付。5月10日までに参加登録を完了していただく。
 - ・現在、荒井総務部長が総会案内文を作成中。4月の郵送物内に総会案内文、インターネット会議方式Zoomの説明資料を同封して送付する予定。Zoom説明文内に参加登録フォーム、（リンク、バーコード）を掲載するが、内容変更でリンク・バーコードも変更となる為、確定後に作成することとする。
 - ・総会議案書に関しては、4月29日の会計監査後、監事意見書を挿入し、総会議案書のデータ完成とする。総会議案書発送の時期としては5月14日には郵送手続きに入る予定。
 - ・総会は6月7日（日）10時～社員総会を開催予定。
 - ・当日の役割としては、議長・資料投影操作：大場会長、議事進行：大内事務局次長、定足数・挙手人数確認：荒井総務部長、書記：広報局より2名選出、議事録作成：開江総務部副部長。
 - ・現監事小泉様、後任の監事山田様にも参加の依頼が済んでいる。総会中の監事意見書の報告について小泉様に依頼する。外部監事変更報告も実施予定。
 - ・総会議案書は、小泉様、山田様にも郵送予定、庶務部へと依頼していく。
 - ・後任監事の山田様の就任承諾書は当事務局員より郵送予定。
 - ・総会時研修の案内に関しては一度算理事が修正し、荒井理事に返信いただく。
- 現段階で研修は6月以降の開催としているが、6月のタイミングで実施が厳しいとなると、eラーニングで実施か？受講したかどうかの確認をどうしていくか検討が必要。会員ページの中で情報提供という形でも良いか？研修方法について検討を続けていく。COVID-19の影響で研修会等の事業中止が発生するにしても、県士会存続のための収入は必要であり会費は発生する。教育水準の低下も懸念され、会員の作業療法士としての専門性を担保するためにも開催方法等を検討し可能な限りで研修会の開催、情報発信を続けていく。

- ・医療圏の活動に関しても、実施するか、否か検討が必要。来年度の医療圏スケジュールは出ているが、9月までは0ベースで考え、それ以降の下半期スケジュールをどうしていくのか？細田地域貢献局長より各医療圏に確認していく。
- ・COVID-19感染拡大による自粛ムードの中だが、県士会の事業として各理事、案を出し合って検討していくこととする。

【Ⅱ報告・連絡事項】

1. 会計監査・第1回理事会について (荒井総務部長)
 - ・4月29日(水・祝日) 9時～会計監査、10時～令和2年度第1回理事会を開催予定。
Zoomを使用するWEB会議を予定しており、Zoom IDは決まり次第、監事、参加理事に送付の予定。
会計監査―第1回理事会の参加切り替えについては、同IDを使用し、使用者の操作により切り替えを行う予定。
 - ・会計監査までに、外部監事小泉様に監事意見書郵送、署名、サインを頂く。返信があり次第、西監事にも監事意見書を郵送、署名、サインを頂く。
 - ・小泉様は今年度で外部監事を辞任されるため、併せて監事辞任届を送付してもらう。
 - ・4月10日頃より、会計監査・第1回理事会開催の為の調整を開始。議案概要書提出期限を4月24日とし、4月27日に資料を全理事へ送付する予定。